

ぐるっと会津ひなめぐり 会津坂下町でも開催

昨年から会津の7市町村の商工会などの主催で行われていた「ぐるっと会津ひなめぐり」が2月4日(火)～3月3日(月)まで開催されました。会津坂下町では会津坂下町商工会の取り

組みに応じた町内22店舗の店舗事業所が各々特長のあ
るおひな様の展示をおこな
いました。以下いくつか紹
介します。
旅館の滝の湯では玄関
ホール一杯にひな人形と



滝の湯のひな人形



いしやま食堂のひな人形

つるしびなが飾られました。つるしびなの展示は原
発事故で避難されていた葛
尾村の方からの寄贈がキッ
カケです。今では地区の手
芸愛好家の方々の作品も多
数飾ってあります。飾り付
けにあるねずみには子孫繁
栄、野菜には食べ物に困ら
ない、からしには害虫を寄

せ付けないなど
の意味があるそ
うです。

いしやま食堂

のおひな様は皇
太様・雅子妃ご
結婚の儀式をモ
デルに作成され
た紙製のもの
です。

マルアイ種苗

店のおひな様は
おばあちゃんの
手作りです。

三国屋呉服店

のおひな様は大
正時代から伝わる大変貴重
なものです。

来年はどのようなおひな
様が飾られるのでしよ
うか？おひな様も様々あるよ
うです。寒い時期ですが、

町民の皆様もぜひ「ひなめ
ぐり」を通して季節の行事
を感じることをお

勧めいたします。



三国屋呉服店のひな人形



マルアイ種苗店のひな人形

坂下南幼稚園

豆まき



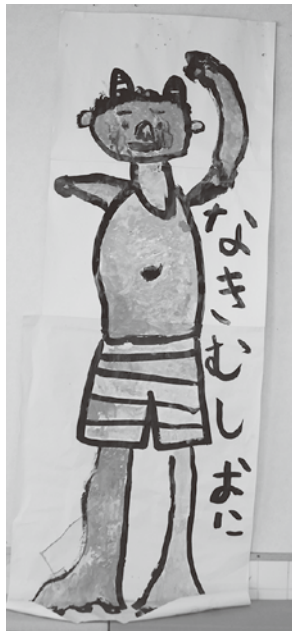
町内の保育所・幼稚園・小学校・
中学校から、子どもたちの学校
での様子をお伝えします！

2月3日、坂下南幼稚園で豆まきが行われました。

園児たちは、自分で作った鬼のお面をかぶり、牛乳パックの入れ物にたくさんの豆を入れて元気よくお遊戯室に入場しました。園児たちは、「鬼さんにたくさんの豆を投げるんだ！鬼がきたら先生を守ってあげる」と意気揚揚、先生から「みんなのお腹の中にある泣き虫鬼や、言う事聞かない鬼、怒りんぼ鬼のような悪い鬼を追い出すために元気よく豆まきをしましょう！」という言葉を図に、壁に貼ってある悪い鬼に豆を投げました。

しばらくすると外の戸が「ガン！ガン！」と鳴り、金棒を持った赤鬼と青鬼が勢いよく登場しました。元気よく豆まきをしていた園児たちですが、鬼をみると追い出すどころか逃げるのに精一杯！中には先生にしがみついたり、端に隠れて泣いている園児も。必至に勇気をふりしぼりなんとか鬼を追い出しました。

その後は、投げた豆を拾いクラスに戻り、園児たちは「年の数より1つ多く食べるんだって」と話しながらおいしそうに食べていました。



今月号の「道の駅インタビューコーナー」は、湯川村老人クラブ連合会の岩沢秀一会長、会津坂下町老人クラブ連合会の石井健一会長からお話を聞きました。道の駅にあってほしい機能、また期待することなどについてご意見をいただきました。



岩沢秀一さん

○老人クラブ連合会では会員の交流を深めるため、どんな事業に取り組んでいますか。

岩沢…湯川村老人クラブ連合会は、会員数約130名で活動しており、フロアカーリング、グラウンドゴルフ、屋内スポーツ大会などの体育行事、陶芸教室や安全教室、また「団子さし」といった季節の行事や昔遊びを通して保育所の子どもたちや、放課後児童クラブの子どもたちと交流するなどの活動を行っています。

○会員の中には、農産物を作っている方が多くいらっしゃると思いますが。

岩沢…会員の中にも、まだまだ現役で農業を続けられている方も多く、キュウリ、トマトやアスパラなどはJAや市場に出荷している方もいます。また野菜ではありませんが、私の集落では手作り「ほうき」を作っている方もいます。

○さて老人クラブで道の駅を利用する場合、どんな行事が考えられますか。岩沢…道の駅は湯川村の端にあるた

め、講座などを開催するには交通手段がない方にとっては少し不便かもしれません。でも近年人気のあるグラウンドゴルフには、家用車を使って多くの方々が集まるので、一度は川の駅の多目的自由広場で開催してみたいと考えています。そのあとの昼食にも道の駅を使いたいと思います。

○湯川村にある特産品、また皆さんにお勧めしたい場所などがありましたら教えてください。

岩沢…湯川村と言ったらやはりお米と勝常寺のお薬師さまでしょうか。お薬師さまは東北の仏像として唯一の国宝ですので、これを見てみたいと思いき光バスなどで多くの方がおいでになると思います。ぜひ湯川村の情報を道の駅から広く発信して欲しいです。

○最後に整備される「道の駅」は、どんな施設になって欲しいですか。

岩沢…整備中の「道の駅」には様々な施設があり、これらを運営するには人件費や維持費をかけるなければ出来ないと考えます。そのため、これらの経費を補うには、ぜひいろいろな仕掛け、取組みやイベントを行ない、お客様を多く集め売上を伸ばして欲しいと思います。私たち老人クラブもいろいろな機会を通し、道の駅で食事したり、お弁当を頼んだりして、利用していきたいと思いますし、開業したときには見学させていただきます。



石井健一さん

○老人クラブ連合会では会員の交流を深めるため、どんな事業に取り組んでいますか。

石井…会津坂下町老人クラブ連合会は、会員数1598名で、老人大学、文化講座への参加、また年2回、グラウンドゴルフ大会を開催して、会員同士の親睦を深めています。また、地区の活動も活発で私が住んでいる金上地区では、コミュニティセンター事業に協力し、地域の子どもたちと一緒に「ひし巻作り」などを行い交流しています。

さらには健康に関する知識を身に付けるため、熱中症予防などの講座も行いました。

○会員の中では、農産物を作っている方も多いと思いますが。

石井…以前はよく見かけたりヤカーに野菜をつけて売っていた農家の方も最近は少なくなりました。でも農業は70代でもまだまだ現役で、稲作だけではなく野菜や花を出荷している方も多いと思います。

○道の駅に備えてほしい機能はありますか。石井…現在整備中の道の駅は会津盆地

の中心地にあるので、その立地と地元にある「宝」を生かせるように、様々な情報を発信して欲しいです。この湯川・会津坂下地域は古くから会津の文化が栄えたところで、この地にある神社仏閣を10分程度の映像にまとめ施設内で見せれば、ここに行きたいと地図を手にとって観光する方が増えると思います。さらに、遺跡や名木、伝説や民話なども紹介して欲しいですね。また食については、米粉、小麦粉、そば粉など「粉」を使った郷土食がありますし、「馬肉」も昔から食べ続けています。ぜひ道の駅で多くの人が集う「米粉サミット」や「馬肉サミット」、また米粉や馬肉を使った料理コンテストの開催も面白いと思います。

○会津坂下町の中でお勧めしたい風景などがあれば教えてください。

石井…道の駅へ訪れた方に対して、これから立ち寄ってもらいたい場所を伝えるため、春夏秋冬ごとの風景をパネルやポスターで道の駅の中に展示してもらいたいと思います。また、地図やパンフレットは全てを一つに詰め込むのではなく「神社寺院編」「遺跡編」などお客様の目的に応じたパンフレットを有料販売してもいいので作成してみたいかがでしょうか。

○最後に整備される「道の駅」は、どんな施設になって欲しいですか。

石井…この「道の駅」は旅の目的に関する情報の発信基地、起点になって欲しいと思います。ここに来れば知りたい情報、また知らなかった地域の情報が手に入る施設になって欲しいです。

中世―武士の時代へ

「会津坂下町郷土学習副読本―

坂下学のおすすめ」から

ある訪問から

訪問者（以下、訪）「失礼します。四十年ぶりに古里に帰ってきた〇〇と申します。自分の住んでいる村の歴史を知りたくて、お邪魔しました。」県外で定年を迎え、当町へ戻られたとのこと。四十年の間に道路は至る所が舗装され、街並みも変わり、自分は浦島太郎のようだと、その人はしみじみと感想を述べられておられました。

職員（以下、職）「同じ村の方で、南北朝時代（一三三六―一三九二）の村の事を調べた冊子がありますのでコピーして差し上げます。」

訪「自分の住む村のことを知らないでは、近所付き合いもうまくできないと思ひまして・・・ありがとうございます。」

職「この編纂室を訪れる方は、歴史上の人物を調べて本を作っている方、古文書を調べている方、ご先祖が収集した土器や石器を自宅に保管している方など、皆さん様々です。今、定期的に開催している「坂下学」という地元の歴史を学ぶ講座がありますが、そこに参加している方もかなりおられます。」

訪「ここでは、どのような仕事をされているのですか？」

職「今は、町史の考古資料編を編さんしています。古文書の整理や町広報紙に町の歴史を紹介する記事も書いています。」

訪「町の歴史について、少し聞いてもよいですか？」

職「どうぞ。先の南北朝時代は、時代区分では中世に当たります。鎌倉幕府から室町時代へと政権が移行する動乱の時期です。この会津地方にもその余波が及んでいきます。政権の主体は平安時代末期から武士階級に代わりつつありました。」

『平家物語』によると、一一八二年に城四郎長茂に率いられた越後・出羽・会津四軍の兵四万余騎が源義仲追討のため、長野県の横田河原に出兵しています。

『新編会津風土記』によれば、越後街道沿いに、この城氏が築いたと伝えられる城跡がいくつか残されています。宇内にある国指定史跡の「陣が峯城跡」や舟渡の「雲雀が城跡」などです。

その凡そ一〇〇年前には源頼義・義家父子による東北地方の蝦夷（えみし）・大和朝廷に従わない東北地方の住民に用いた呼称（征伐がありました。この時に、東北各地に八幡神社が建てられています。その代表的な神社

の一つが塔寺の心清水八幡神社です。

この塔寺には、一二〇〇年頃の作と伝わる恵隆寺観音堂の「木造千手観音立像」（一木造り）があります。



上：国指定史跡 陣が峯城跡（宇内）
下：雲雀が城跡（舟渡）

戦や個人の力の及ばない天変地異や疫病などの現実を生きていた人々にとっては、心清水八幡神社とともに何よりも生きる力となったことでしょう。

中央政府の貴族が所有する荘園である蜷川荘（いながわのしょう）が負担したのかもしれない。或いは、当時の財力のある有力者が安寧を願って、寄進することもあるでしょう。その有力者は後世、百姓と呼ばれるようになります。

「百姓」という言葉は、商人や職人等一般の身分を指していましたが、年貢を請負う農民を意味するようになっていきます。伊達家法『塵芥集』（一五三六年成立）によると、農耕を主たる生業とし年貢を納める者は百姓と呼ばれ、今の字単位に近い土地を持つ者もいたようです。言わば、農業経営者です。また、直系、傍系の家族を統率し、非血縁の名子や下人と称する隷属民を持っていました。そ



木造千手観音立像と木造二十八部衆立像（塔寺）

の傍系家族や名子は百姓に従いつつ、自前の経営を幾分か許されていました。下人は、牛・馬と同様な扱いで、盗みや売買の対象と見なされ、逃亡した下人を見つけた場合は、礼金が支払われたようです。当時の大小様々な戦での捕虜や拉致された女性や子供が各百姓に売却されて下人となったと推定されています。場合によっては、金品の貸借をして身代金を払い、自由の身になることもできたよう

です。それ故、戦に駆り出される百姓達は常時、家族の生命と財産を守るため、武器を持って訓練していたと思われます。いつ自分を含め家族が下人になるかわからないからです。このような不安から、領主を頼り、武士化していく百姓も現れ始めています。」

訪「なるほど。これからも、お邪魔してもよいでしょうか？」

職「こちらこそ、よろしくお願ひします。」

今回の訪問者のように、定年などで五十代後半の人々が古里に帰ってくることは、地元への活力になります。そのような方々は、留守にした古里を実感するために、家族や地元の同級生・知人と折々語り合うこともあるでしょう。

古里に帰り、地元を詳しく知りたいたいことは、今後全国の市町村に増えてくる現象ではないでしょうか？編さん室の仕事がそのような方々に利用してもらえることは、大きな喜びです。

問い合わせ先 町史編さん室

☎ 83―2234

ばんげの味^{あかさ}が育てる その51 おいしい楽しい健やかライフ



～NPO法人農産加工グループAKAZAの活動～

私たちグループの名前「AKAZA」は雑草（薬草）の「藜」^{あかさ}から付けました。

花言葉は恥じらい、若葉は食用として、歯痛、虫刺されなどにも利用される植物です。古くから干葉にして冬場の保存食としても用いられており、茎は軽くて丈夫なため「アカザの杖」として利用されてきました。畑などどこでも見られる雑草です。踏まれても、除かれてもたくましく自生し、茎は杖となって人様のお役に立てる「アカザ」が私たちグループの名前の由来です（名前負けでしょうか）。



「地産地消」をモットーに、NPO法人設立

以前から畑を借りてみんなで大豆を植え、「黒豆味噌」、「豆菓子」等を加工、販売していました。黒豆味噌を使用し、坂下の馬肉を加えて「さくらみそ」が出来ました。少し辛味のある食べ味噌です。ご飯のお供、もろきゅう、レタス包み、その他いろいろな食べ方が出来ます。

坂下の特産品「馬肉」を使った「さくらバーガー」はアカザのオリジナル商品として各種イベントなどで販売してきました。パテやソースにもさくらみそを使用しています。

地場の旬の食材を使用し、若い人も若きも、障がいのある人たちもいっしょに活動するグループ「AKAZA」は会津坂下町の特産品とともに駆け続けます。

☆☆3月19日（食育の日 家庭料理の日）おすすめレシピ☆☆

ネバネバどんぶり

材料（4人分）

ごはん 600g
納豆 2パック
山いも 150g
オクラ 80g
わかめ 100g
だし汁 大さじ2
A 酢 大さじ2/3
醤油 大さじ2
わさび 適量
のり 適量

作り方

- ①山いもは皮をむき3～4つくらいに切ってポリ袋（厚め）に入れ、麺棒などで細かくたたく。
- ②おくらはがくを切って塩でもみ、さっとゆでて小口切りにする。
- ③ほうれん草は茹でて2cmの長さに、わかめはひと口大に切る。
- ④どんぶりにご飯を盛り、①～③、納豆を盛り付け、Aを混ぜ合わせて上からかけ、わさびをのせ細く切ったのりを添える。

1人分 約346kcal
塩分 1.4g
食物繊維 6.0g



【問い合わせ先 健康管理センター TEL 83-1000】



中央公民館 図書室だより Vol.45

中央公民館図書室 TEL 83-3010 (定休日:毎月第2火曜日)



☆ 新着本ピックアップ ☆

小説	『聖なる怠け者の冒険』
	森見登美彦 著 朝日新聞出版
<p>社会人 2 年目の小和田君は、休日は眠って過ごすことを愛する筋金入りの怠け者。「将来お嫁さんを持ったなら実現したいことリスト」の改訂にも余念がない。</p>	

このほかにも新着本がまだまだあります。ぜひ、図書室へお越しください!!

～図書室からのお願い～

図書室では、蔵書点検を2月の定休日をはさみ3日間実施しました。その結果残念ながら、紛失してしまった本や、汚れている、破れているなどの本が多くありました。図書室の資料は町民のみなさんの大切な財産です。本は一度濡れてしまったり破いてしまったりすると、元には戻りません。図書室の資料を末永く、気持ちよくご利用いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

3月27日～4月9日は「絵本週間」
4月2日は「国際子どもの本の日」

☆ おすすめの絵本

『いのちの木(ポプラせかいの絵本)』

	ブリッタ・テッケントラップ 作・絵
	森山京 訳 ポプラ社

ブックスタート実施のお知らせ

3月13日(木)に、10か月児健診のお子さんを対象に絵本を手渡す『ブックスタート』を実施します。

実施場所：健康管理センター
実施時間：10か月児健診時

中央公民館使用制限のお知らせ

中央公民館の館内一斉清掃を行いますので、下記の期間は図書室も利用できません。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

期間：3月29日(土)
30日(日)

平成26年度図書ボランティア募集

図書の整理や新聞の切抜き、県立図書館の移動図書「あづま号」の図書入替え作業などをお手伝いしていただける図書ボランティアの方を募集しています。ご協力いただける方は、中央公民館までご連絡ください。

※主な活動日は、図書室定休日の毎月第2火曜日午前中です。

